

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年8月29日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/08/30 9:16
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年8月29日号

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会シンポジウム開催決定（速報）

ICRP-RERF-JHPS joint workshop:

Recent progress in radiation dosimetry for epidemiology and radiological protection

（12月2日（土）13:30-17:00、東京大学工学部2号館221講義室）

○国際対応委員会 国際放射線防護学ニュースレターNo. 14を翻訳・公開

国際放射線防護学会IRPAのホームページにニュースレターであるIRPA Bulletinの邦訳版を作成し、公開されました。（8月23日に公開）

<http://www.irpa.net/page.asp?id=54592>

○AOCRP-5 Registration is now open/View Program at a Glance（2018年5月20-23日、オーストラリア メルボルン）

<http://www.aocrp-5.org/registration/>

<http://www.aocrp-5.org/program/>

○国際放射線防護学会, IRPAからのお知らせ

IRPA President Roger Coates has offered some words on issues of interest arising from the EC Article 31 Meeting (May 2017) and

IAEA Radiation Safety Standards Committee (RASSC June 2017).

<http://www.irpa.net/page.asp?id=54731>

2. 関連する研究動向

○山田科学振興財団「2018年度長期間派遣援助」（10月31日必着）

基礎科学研究者の6ヶ月?1年間の海外留学費を助成

<http://www.atomiccollision.jp/pdf/20170808.pdf>

○宇宙航空研究開発機構（JAXA）平成29年度「きぼう」利用フィジビリティスタディ（FS）テーマを募集（締切9月30日 当日消印有効）

http://iss.jaxa.jp/kiboexp/participation/application/2017_kibo-utilization-theme.html

（論文情報）

○ Radiat Res. 2017 Sep;188(3):276-290.

INWORKS(英米仏の原子力作業員)の非がん影響死亡リスクに関する論文。線量応答関係は、循環器疾患全体(虚血性心疾患+脳血管疾患)は直線、虚血性心疾患

(主に急性心筋梗塞)は >0.3 Svで直線、脳血管疾患は直線-指数。女性作業者の循環器疾患死亡リスクが男性作業者より高い。循環器疾患の他、精神疾患死亡

リスクが有意に増加(その半数は痴呆による死亡)。

Mortality from Circulatory Diseases and other Non-Cancer Outcomes among Nuclear Workers in France, the United Kingdom and the United States (INWORKS).

Gillies M et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28692406>

○ Radiat Res. 2017 Aug 18 (in press).

光子と中性子は特に相互作用がないことが知られているが、U20S(ヒト骨肉腫細胞)において53BP1フォーカス(DNA損傷修復マーカー)を指標とすると、

X線と α 線は単純な相加よりも大きな相互作用があるかもしれないことを示した。

Alpha Particles and X Rays Interact in Inducing DNA Damage in U20S Cells.

Sollazzo A et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28820355>

○ J Epidemiol Community Health. 2017 Aug 22 (in press).

2011年3月の東日本大震災は、地震、津波、原子力災害の複合災害。相馬市と南相馬市における間接死のリスクは、2006年から2010年の3月に比べると、

2011年3月で有意に高い。そのリスクは、2011年から2015年のうち、2011年3月が最も高く、高齢の方がリスクが続く可能性あり。間接死の4大主因は、

肺炎、脳卒中、冠動脈疾患、がん。

Excess mortality due to indirect health effects of the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan: a retrospective observational study.

Morita T et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28830951>

○ ICRU REPORT 91 Volume 14, Issue 2, 1 December 2014

従来のICRU Reportsに引き続き、本Reportでは定位放射線治療(SRT)において、臨床例におけるイメージングモダリティのレビューによりターゲット容量

(GTV, CTV)を厳密に定義することを勧告。現存するデリバリシステムに対する小領域の線量評価、治療計画、品質保証を網羅。

Prescribing, Recording, and Reporting of Stereotactic Treatments with Small Photon Beams

<https://academic.oup.com/jicru/issue/14/2>

3. ニュースや社会の動き

○ 日本学術会議 「CT検査による医療被ばくの低減に関する提言」を公表

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-t248-1.pdf>

○ 産総研 「軟X線発光分光法によるリチウムイオン電池充放電機構の解析」

充放電を重ねても性能が劣化しない高性能リチウムイオン電池開発への貢献に期待

http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2017/nr20170816/nr20170816.html

○原子力規制委員会 原子燃料工業熊取事業所第2加工棟において酸化ウラン粉末約19 gが漏えい 報告受理
<https://www.nsr.go.jp/activity/bousai/trouble/houkoku/00000092.html>

○放医研 「プルトニウム内部被ばく線量評価と人体影響に関する Q&A」掲載
<http://www.nirs.qst.go.jp/rd/faq/pu.html>

○放影協 「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」に関する Q & A を更新
<http://www.rea.or.jp/chutou/jyosen/jyosenseido.htm#jyosenseido-pdf>

○IAEA Nuclear Data Section 「Isotope Browser」アプリをiOSとAndroidで提供
<https://www.iaea.org/newscenter/news/iaea-isotope-browser-app-now-available-in-multiple-languages>

○名古屋工業大学など 「白色中性子線を用いて微量な軽元素を含む物質の超精密原子像取得に成功」
<https://www.jaea.go.jp/02/press2017/p17081901/>

4. これからのイベント

○放射線環境・安全カウンスル 第31回 放射線環境・安全に関する研究会 気候・気象の変動と我々の生活ならびに原子力
(9月21日 15:00-17:00、名古屋市市民活動推進センター会議室)
<http://www.res-council.jp/kenkyukai/kenkyukai170921.html>

○安全安心科学アカデミー「保物セミナー2017」(11月1?2日、大阪科学技術センター)
<http://anshin-kagaku.news.coocan.jp/hobutsu2017kokuchi.0711.html>

○広島大学 フェニックスリーダー育成プログラム産学官人材育成コンソーシアム第3回国際シンポジウム
「放射線災害復興におけるイノベーションを担う人材育成と社会への貢献」
(9月1日 9:30~、東京工業大学キャンパスイノベーションセンター 参加費無料、事前参加登録要)
<http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/>【平成29年9月1日開催】産学官人材育成コンソーシ/

○日本医学放射線学会 第53回秋季臨床大会(9月8?10日、愛媛ひめぎんホール)
<http://www.congre.co.jp/jrs53/>

○光・量子融合連携研究開発プログラム成果報告会・J-PARC MLF 螺鈿利用成果報告会 合同研究会
第5回パルス中性子イメージング研究会(9月26?27日、ウインク愛知)
<http://www.j-neutron.com/0808parusu.pdf>

○グローバル原子力人材育成ネットワークによる戦略的原子力教育モデル事業 平成29年度 第2回国際原子力基礎教育TVセミナー
「東京電力福島原子力発電所事故の教訓」(9月27日、TV配信校：東京工業大学)
<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/d-atom/Japanese/Events/index.html>

○福島県立医科大学とICRPの合同シンポジウム「医療における放射線防護」(10月3日、福島県立医科大学 事前参加登録9月22日締切)

<http://www.icrp.org/docs/FMU-ICRP%20Workshop%20Abstract.pdf>

○原子力安全技術センター放射線安全管理講習会受付開始
(10月31日大阪、11月6日及び28日東京、11月8日名古屋、11月16日札幌、11月24日福岡)
<http://www.nustec.or.jp/project/ankan.html>

○原子力安全技術センター 医療機関のための放射線安全管理講習会受付開始 (10月21日東京、10月23日岡山)
<http://www.nustec.or.jp/project/iryoankan.html>

○日本医学物理学会 第115回学術大会 (2018年4月12日-15日、パシフィコ横浜)
演題申込期間: 2017年9月1日-10月16日
<http://www.jsmp.org/conf/115/index.html>

○大気環境学会第58回年会 一般公開講座 座福島事故による放射性物質の大気環境影響はどこまで明らかになったか? (9月8日、兵庫医療大学)
http://www.knt.co.jp/ec/2017/jsae58/open_kouza.html

○KEK, JSPS 第2回国際シンポジウム「放射線検出器とその応用」(ISR2018)開催 (2018年1月23?26日、KEKつくば)
<http://www-conf.kek.jp/ISR2018> (Dead line for Abstract submission: Oct. 6, 2017)

○日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会
中国・四国支部研修会 (9月15日、岡山大学自然生命科学研究支援センター)
北海道支部主任者研修会 (10月24日、北海道大学 アイソトープ総合センター)
関東支部見学会および交流会 (11月10日、新日鐵住金株式会社君津製鐵所)
九州支部研修会 (11月17日、北九州国際会議場)
<https://jrias.smtg.jp/public/seminar/>

○日本放射線安全管理学会12月シンポジウム (11月30日?12月1日、東京大学農学部弥生講堂一条ホール) ポスター発表募集中 (9月15日まで延長)
<http://www.symposium.jrsm.jp/2017/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○高輝度光科学研究センター一定年制研究員1名募集 (9月29日必着)
<http://www.jasri.jp/human-resources/research-job/175.html>

○日本分析センター 技術職若干名募集 (平成30年3月卒業予定者)
<http://www.jcac.or.jp/site/about-jcac/employ.html>

○量研機構
平成30年度 博士研究員募集 (9月19日必着)
六ヶ所研 任期制常勤職員 (研究職) 募集 (10月20日必着)

